

## 『日本の水車 - Japanese Watermills』(日英2国語版)

川上顕治郎・著(産業考古学会会長/前・多摩美術大学教授)

B5判 66ページ・オールカラー 価格 1,680円(税込み)

人間は、水や風の力を上手に利用しながら発展を遂げてきました。文明が高度に進んだ現代にあっても、水は私たちの生活になくてはならない資源であり、同時にクリーンで無尽蔵な自然エネルギーとして、その有効利用が再び見直されています。

本書は、米の精米や小麦の製粉を始め、灌漑用の揚水水車、紡績用の船水車、線香の原料である杉の葉を粉末にする水車、陶土をつくる製陶水車など、日本全国に残る数々のユニークな水車を取り上げ、貴重なカラー写真と図版でその歴史や機能を紹介しています。

懐かしい山里や田園を背景にコトコトとノンビリ回る水車。私たちの心に表象を与えてやまない、いつまでも変わらぬ日本の原風景がそこにあります。

なお本書は新しい試みとして日英2国語併記のバイリンガル構成とし、英語圏の読者にも日本の文化をより深く理解して頂けるように編集しました。

### 内容

東京で最後まで動いていた水車 / 北海道の澱粉水車 / 北茨城の小型タービン水車 / 日光の線香水車 / ピッチバック形式の上掛水車 / 大型の関東水車 / 新座の水車 / 多摩地区独特の工夫された水車 / 各地にあった石臼塚の一つ / 長野県の耐雪様式の水車 / 日本独自の多様木製水車 / 今も現役の製材水車 / 愛知の船水車 / トロンミル / 鉄製の多石臼水車 / 日本で唯一量産された水車 / 大都市部に近い畑作用揚水風車 / 簡単な構造の揚水水車 / 世界的に見ても面白いしかけの精米水車 / 福岡県朝倉町の揚水水車 / 共同使用の精米水車 / 2個の水受けを持つ箱水車 / 製陶用のバッテリー水車 / 沖縄の製糖車 / 日本中で使われているイモ洗い水車 / モグラ撃退用簡便風車 / もみすり用土唐臼 / 木製のもみすり臼